

上海のインターナショナルスクール

社会事業団に25万円寄託

中国の上海ウエスタンインターナショナルスクール（トム・クライン校長）に通う子どもと家族が、東日本大震災の被災地に児童図書を贈る「いっしょだよ」キャンペーンに取り組み、25万円を毎日新聞大阪社会事業団に寄託した。

同校には幼稚園児から中学3年まで、37カ国の約340人が通い、日本の生徒も多い。出身国の文化を紹介する学校行事が5月6日



にあり、日本の保護者が被災地の惨状を伝える毎日新聞の写真グラフィックを張り出し、募金箱を置いてキャンペーンの協力を呼び掛けた。5年生のシンガポール人、シヨウン・ロウ君は「今回の募金にはほとんどみんなが協力していた。これからでもできる限りの手助けをしていきたい」と話していた。【石村綾子】



募金に協力する上海ウエスタンインターナショナルスクールの子ども＝6日、同スクール提供

Q 自分の被ばく線量を知るには？

A 公表データで

目安が分かります



を紹介します。詳細は同研究所のホームページに掲載しています。被ばくま、①大気中

とすると累計で44億。②は水道水を1日1・65リットル飲むと15億。③は食材の半分が東北や関東産と仮定して86億。④は21億です。計200億弱で、このままの状態なら1年間で600億